

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	5-	9	
事業名	消費生活経費	会計 一般	款 3	項 1	目 5
政策	8 安全と安心を守るために	課名	町民課		
施策	8-2 交通安全・防犯・消費者保護対策の充実	係名	町民活動係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域・住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	消費者の保護として悪徳商法、振り込め詐欺などの被害を未然に防ぐことで地域住民の生活を守る。
事業内容	消費生活相談…消費者の保護を目的として、毎月2回消費生活相談員による相談を行っている。また、随時消費生活相談を受け付けている。その他、出前講座として自治会などに出向いた消費生活講座の開催を行う。 消費生活に関する情報提供…県消費生活センター、いなべ警察署等と連携し広報啓発活動を行う。高齢者見守りネットワークや地域包括支援センターと連携し、消費者被害の予防を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	消費生活啓発回数	5			回	→	10	
2									
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			1,452		1,456		1,538		
財源 内訳	直接事業費 A		330		334		416		
	うち一般財源		89		74		105		
人件費 (千円) B			1,122		1,122		1,122		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.17	1122	0.17	1122	0.17	1122	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	さらに予防的な対応に力を入れるため、消費生活講座等の消費者教育の他、地域包括支援センターとの情報共有も活発に行っていく。	③取組の課題	コロナ禍による詐欺やインターネット関連の消費者被害が増加しており、多様化しており、被害を未然に防ぐための啓発が必要。
②R3年度に実施した取り組み	消費生活相談員や職員による消費生活相談を行い、コロナ禍による消費者被害にも対応した。成年年齢の引き下げに伴い、中学生を対象に契約に関する啓発パンフレットを配布した。	④今後の改善計画	コロナ禍で在宅によるネット通販トラブルなども増えているため、啓発等による情報提供を活発に行っていきたい。